

## 令和 5 年度(2023 年度)事業報告

京都私学振興会は、1963 年(昭和 38 年)5 月に設立して以来、半世紀以上の永きに亘って府内の私学の振興と教職員の福利の向上のため、多大の貢献を果たしてまいりました。

令和 5 年度も、年度当初に定めた事業計画に基づき下記の諸事業を遂行して私学の振興発展に寄与しました。

### 事業の状況

#### [1] 京都私学振興会設立 60 周年記念式典の開催

京都私学振興会は昭和 38 年 5 月 15 日に設立されて以来、本年(令和 5 年)を以って設立 60 周年を迎えて、去る令和 5 年 5 月 14 日(日)に設立 60 周年記念式典を挙行致しました。

当日は快晴に恵まれ、新装なった京都私学会館地階大ホールに多くの来賓をお迎えして、記念式典が盛大に挙行されました。

式典は、菅常務理事司会により開式の挨拶をした後、藤林理事長式辞・西脇京都府知事様ご祝辞・門川京都市長様ご祝辞、佐々井京都私学関係団体代表様ご祝辞に続いて、茂山忠三郎大蔵流家元及び社中により設立 60 周年を祝ってめでたい狂言福の神が上演されました。

その後、永年京都私学振興会の発展に寄与された功労者の方々に記念表彰が行われて、記念式典は厳粛な中にも和やかに挙行されました。

#### [2] 私学教育充実助成金交付事業

私学関係団体の事業活動を資金面より支援する私学教育充実助成金交付事業は、私学の振興発展を目的とする当振興会にとって最も重要な事業です。

当年度も各団体より提出された申請書について助成金査定委員会において慎重な査定が行われた後その答申に基づき、理事会の議を経て 4 月 8 日に下記の 6 団体に助成金を交付しました。

京都府私立中学高等学校連合会	45,000,000 円
京都府私立中学高等学校経営者協会	5,500,000 円
京都府私立中学高等学校保護者会連合会	3,500,000 円
京都府私立幼稚園連盟	35,400,000 円
京都府専修学校各種学校協会	10,000,000 円
京都府私立小学校連合会	7,000,000 円
合 計	<u>106,400,000 円</u>

7月10日に助成金査定委員会を開催して、各私学関係団体の前年度の助成金の使用状況を検証した結果、当振興会が交付した助成金が各私学関係団体において私学教育の充実のために適正に使われたことを確認しました。

### [3] 顕彰奨学金事業

当振興会の顕彰奨学金制度は、平成18年に創設して以来18年目を迎え、これまでに多くの私学関係者に京都私学振興会賞を授賞して、私学の教育・文化・スポーツの振興に多大の貢献を果たしてまいりました。

当年度も各学校より提出された受賞候補者について審査委員会において慎重な審査が行われ、優れた成果を挙げた教員・クラブ・生徒に京都私学振興会賞を授賞し、併せて学費支弁者を病気等で亡くし修学の継続が困難となった生徒に奨学金を給付しました。

授賞式は新装なった京都私学会館地階大ホールにおいて6月18日(日)に盛大に挙行いたしました。

#### 【各賞の受賞者】

小野山利雄賞(私学の振興に格別の功績を果たした人物)	1名
私学振興賞Ⅰ(教育・研究・指導面で顕著な成果を挙げた教員)	2名
私学振興賞Ⅱ(特色ある教育計画を実施している学校)	7園校
文化スポーツ活動賞Ⅰ(全国優勝又は準ずる成績を挙げたクラブ)	7クラブ
文化スポーツ活動賞Ⅱ(全国優勝又は準ずる成績を挙げた生徒)	21名
教育研究奨励金(日々教育活動に精励している教員・グループ)	3名1グループ
奨学金(学費支弁者の死去等により就学困難となった生徒)	10名
京都私学振興会賞交付額	6,650,000円
京都私学振興会奨学金交付額	2,693,300円

なお、第1回以降第18回に亘って京都私学振興会賞の審査委員長をお勤め頂いた荒巻禎一氏が本年度を以って退任されましたので、次年度以降の審査委員長として前京都市長の門川大作氏が就任されることになりました。

### [4] 会館事業

京都私学会館は、私学関係団体に事務室を貸与すると共に、私学関係者の教育研修の場として会議・研修・講演会等の用に供すると共に、併せて一般利用者の会議等の用にも共しています。

近年は新型コロナウイルスの蔓延が続いたため、会議室の利用は私学関係者の利用にとどめ一般利用者への貸与は最小限に抑制してきました。

当会館では、この間を利用して会館内の施設設備の充実工事を行うべく、昨年ま

でに地階大会議室及び1階の工事を終え、本年度は2階から4階までの冷暖房空調設備の更新工事を施工しました。

殊に、近年の高度に進んだIT時代に対応するため、地階大会議室と3階会議室を最新式の設備を備えた会議室に改造し、その他の会議室でもパソコンを持ち込みでの会議に対応できるだけのネット容量を備えました。

その結果、京都私学会館は地階から4階までの全館の工事が全て完了して、美しい外観と最新の施設設備を備えた素晴らしい会館に生まれ変わりました。

当年度末に至り新型コロナもようやく下火になったので、当会館では新装なった私学会館のパンフレットを作成して、次年度以降に一般利用者の利用を促進するための準備を進めています。

#### [5] 教職員福利厚生事業

教職員の福利厚生の充実は私学教育にとって重要であるため、当振興会は京都私学互助会を組織して、教職員とその家族に対し様々な福利厚生事業を行っています。

当年度も医療・慶弔・退会一時金等の給付事業や貸付金事業を確実に実施しました。なお、会員に映画・演劇・各種イベントの入場料金を補助する厚生文化事業は、新型コロナウイルスの蔓延のため前年度まで実施できませんでしたが、当年度より水族館・映画などの入場券を割引販売する補助を実施しました。

	(令和4年度)	(令和5年度)
医療・慶弔給付	8,076千円	8,401千円
退会一時金給付	13,616千円	14,647千円
貸付金	1,000千円	1,400千円

#### [6] 消防訓練の実施

近年東北地方や北陸地方で大規模な地震や津波が発生して、多くの人命が失われています。

京都とて例外ではなく何時大災害に遭遇するかしれません。そこで、京都私学振興会もかねてより防災設備備品を完備はしてはいますが、いざと言う時に対応できなければ意味がありません。

そこで、下記の日程で京都私学会館内に勤務する全職員が参加する防火訓練を実施しました。

日 時 12月19日(火)午前9時30分～午前11時  
参加者 京都私学会館に勤務する全職員及び協栄ビル管理職員  
訓 練 講演・消火訓練・通報訓練・避難誘導訓練・講習

私学会館内に勤務する全職員が参加し、それぞれの役割分担を定めて、私学会館に実際に火災が発生した場合を想定した実務的な訓練を実施しました。

当日は京都市下京消防署の職員も参加され、消火器の実務訓練の実施の後、講評を受けました。

この訓練の実施をうけて、当振興会は自主防火体制の強化に尽力したとして、令和6年3月4日に京都市下京消防署長より表彰を受けました。

## [7] 役員の改選

理事・監事の任期満了に伴い、令和5年6月12日開催の評議員会に於いて下記の方々が選任され、同日開催の理事会に於いて藤林昭一理事が代表理事(理事長)に選任され、菅恭弘理事が業務執行理事(常務理事)に選任されました。

理事	山本綱義	(重任)
	佐々井宏平	(重任)
	堤清彰	(新任)
	初田泰宏	(新任)
	長澤宗一	(重任)
	川名マミ	(重任)
	田中誠二	(重任)
	藤林昭一	(重任)
	阿南孝也	(重任)
	久保雅子	(新任)
	真城義麿	(重任)
	土屋文秀	(重任)
	菅恭弘	(重任)
監事	林信康	(重任)
	藤本明弘	(重任)
	山崎昇	(重任)

なお、堤清彰・初田泰宏・久保雅子評議員の理事選任により、評議員が3名欠員となりましたが評議員は定足数を満たしているため、次回評議員改選の際に補充選任することにします。

## [8] 公認会計士監査及び監事監査

令和4年度収支決算・理事長の職務執行状況・その他の重要事項について、4月26日に西村公認会計士・俣野公認会計士の監査を受け、4月28日に林・藤本・山崎各監事の監査を受けました。

## **[9] 公益法人定期提出書類の提出**

公益法人は毎年3月末までに翌年度の事業計画及び予算を、6月末日までに前年度の事業報告・決算・理事監事評議員名簿、その他の法人の状況を、監督官庁である京都府に報告することとされており、期限内に電子申請にて提出しました。

## **[10] 全国私学振興会連合会総会**

令和5年度全国私学振興会連合会の総会が7月14日に山形県にて開催され、藤本課長が参加して、全国各地の私学振興会担当者と法人の運営等について意見交換しました。

## **[11] 情報の公開**

公益法人は、業務運営の透明化と適切化を図るため諸情報の公開が求められています。当振興会では、公益法人に関する法律に基づき定款・役員報酬規程・役員名簿・予算書・決算書等の書類を事務所に備えて開示すると共に、インターネット上に京都私学振興会と京都私学会館の2サイトのホームページを設けて、充実した情報を広く一般に公開しています。

京都私学振興会 <http://www.kyt-shigakusinnkougai.jp>

京都私学会館 <http://www.kyt-shigakukaikan.or.jp>

## **[12] 理事会等の開催・役員等名簿**

理事会・評議員会・各委員会の開催状況、各事業の詳細、及び理事・監事・評議員・各委員会委員の名簿は、後掲の附属明細書Ⅰ～Ⅴに記載の通りです。

## **[13] 令和5年度の収支決算状況**

令和5年度の収支決算の状況は、別添の貸借対照表・正味財産増減計算書・同内訳表・収支計算書・財務諸表に関する注記・財産目録に記載の通りです。